

VMware Cloud Sizer ユーザー ガイド

VMware Cloud services

最新の技術ドキュメントは、VMware の Web サイト (<https://docs.vmware.com/jp/>)

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

VMware株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-1
田町ステーションタワー N 18 階
www.vmware.com/jp

Copyright © 2021 VMware, Inc. All rights reserved. 著作権および商標情報。

目次

| | |
|---------------------------------------------------|-----------|
| VMware Cloud Sizer ユーザー ガイドについて | 4 |
| 1 VMware Cloud Sizer の概要 | 5 |
| 2 VMware Cloud Sizer の操作 | 6 |
| 3 VMware Cloud Quick Sizer へのアクセス | 7 |
| 4 VMware Cloud Advanced Sizer - クラシック | 9 |
| VMware Cloud Advanced Sizer へのアクセス - インポート | 9 |
| VMware Cloud Advanced Sizer へのアクセス - 手動 | 10 |
| Sizer ツールのグローバル設定 | 12 |
| 5 VMware Cloud Advanced Sizer - 新規 | 13 |
| VMware Cloud Sizer へのアクセス - 新規 | 13 |
| Sizer ツールのプロファイル設定 - 新規 | 14 |
| 6 VMware Cloud Sizer での Sizer プロジェクトの作成と保存 | 16 |
| VMware Cloud Sizer でのログの表示 | 16 |

VMware Cloud Sizer ユーザー ガイドについて

『VMware Cloud Sizer ユーザー ガイド』には、VMware Cloud の SDDC サイジングの定義と構成に関する情報が記載されています。

対象読者

本書は、VMware Cloud を使用してさまざまな環境で SDDC インフラストラクチャを展開および管理する方を対象としています。[ここをクリックして VMware Cloud のホーム ページから Sizer ツールにアクセスできます。](#)

VMware Cloud Sizer の概要

1

VMware Cloud Sizer は、VMware Cloud 内でさまざまなワークロードを実行するために必要なリソースを見積もる無償の VMware Cloud サービスです。

また、VMware Cloud Services ポータルには、プロセスをより簡単にナビゲートするための Sizer 用の統合ユーザー インターフェイスが用意されています。

VMware Cloud Sizer は、アプリケーションのオンボーディングに必要な VMware Cloud リソースを推定します。VMware Cloud Sizer ホームページで、開始するクラウド インフラストラクチャを選択します。現在 VMware Cloud Sizer でサポートされているのは VMware Cloud on AWS です。

VMware Cloud Sizer の操作

2

VMware Cloud Sizer ツールは、VMware Cloud でさまざまなワークロードを実行するために必要なクラウド リソースの見積もりに役立ちます。

VMware Cloud 内で特定のワークロードをホストするために必要なリソースの見積もりは、指定されたデータに大きく依存する重要なタスクです。このサービスではデータを使用してプロジェクトの使用率と要件を正確に計算できますが、データが必ずしも使用可能であるとは限りません。したがって、このサービスでは複数の異なる入力方法とサイジング ワークフローがサポートされます。VMware Cloud Sizer ツールには、次に示す 3 つの異なる Sizer オプションが用意されています。

- Quick Sizer
- Advanced Sizer - クラシック
- Advanced Sizer - 新規

各 Sizer オプションは、ワークロードの実行に必要なとされる正確な見積もりを提供します。Quick Sizer は大まかな見積もりを提供する場合に役立ちます。一方、Advanced Sizer - クラシックは、新しい展開に関する正確かつ詳細な情報を提供します。詳細については、『[VMware Cloud Advanced Sizer へのアクセス - 手動](#)』を参照してください。

新しい Advanced Sizer を使用すると、プロファイルを柔軟にカスタマイズでき、ワークロード要件に基づいて高度で正確な推奨を提供できます。

VMware Cloud Sizer は、組織にログインし、さまざまな Sizer オプションにアクセスしてワークロードの見積もりを計算するためのメカニズムを提供します。また、このツールは、エントリを作成して参照用のプロジェクトとして保存する追加の機能も提供します。Sizer ツールにログインした後で新しいプロジェクトを作成する方法の詳細については、[6 章 VMware Cloud Sizer での Sizer プロジェクトの作成と保存](#)を参照してください。

VMware Cloud Quick Sizer へのアクセス

3

このオプションは、最小限の情報を使用して大まかな見積もりを提供します。クイックサイジングは、初期のサイジングと迅速な見積もりに適していますが、最終的な見積もりには使用できません。計算値は正確ですが、データの入力方法によって重要な詳細が失われ、サイジングの推奨値について最大で 20% 以上の誤差が生じる可能性があります。

SDDC を作成するには、Sizer ツールで最小限の情報とその他の関連情報を入力する必要があります。このツールは、迅速な見積もりにのみ適した結果を提供します。

手順

- 1 <https://vmc.vmware.com/sizer> を新しいブラウザで開きます。
- 2 ドロップダウンメニューから必要な [ワークロードタイプ] を選択します。

| ワークロードタイプ | 説明 |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全般 | 汎用のワークロードタイプには、汎用の仮想マシンのセットを含めることができます。 |
| データベース (Oracle) | Oracle および Microsoft のデータベースに基づくワークロードタイプです。 |
| データベース (Microsoft) | |
| VDI フル クローン | フル クローンは、仮想マシン (VM) の独立したコピーです。マスター仮想マシンとは何も共有しませんが、作成に使用されたマスター仮想マシンからは完全に切り離されて動作します。 |
| VDI インスタント クローン | VDI インスタント クローンは、フル クローンよりも使用するストレージ容量が大幅に少ないリンク クローンに似ています。これは、VDI インスタント クローンが共有仮想ディスク上のソフトウェアにアクセスするためです。この共有メカニズムのため、リンク クローンはクローン作成に使用されるディスクに常にアクセスできる必要があります。リンク クローンを作成するには、マスター仮想マシンのスナップショットを作成し、クローン作成プロセスでクローン作成に使用するレプリカ仮想マシンを作成します。リンク クローンは、レプリカ仮想マシンと仮想ディスクを共有します。差分 (リンク クローンに固有のソフトウェアの一部) は別のディスクまたは REDO ディスクに格納されます。この配置により、リンク クローンが占有する物理ディスク容量はマスター仮想マシンよりも少なくなりますが、共有仮想ディスクにインストールされているソフトウェアには引き続きアクセスできます。1 つのレプリカから数百のリンクされた異なるディスクを作成できるため、必要なストレージの総量を削減できます。 |

- 3 [仮想マシンの合計数] を入力します。

VDI ワークロードタイプの場合、各デスクトップインスタンスにつき 1 台の仮想マシンを検討することができます。

4 [vCPU/pCore] の数を入力します。

vCPU/pCore は、物理 CPU あたりの仮想 CPU のシェアを表します。ワークロード タイプとして [VDI - フル クローン] と [VDI - インスタント クローン] を選択した場合、[vCPU/pCore] オプションは表示されません。

5 [入力の平均] で、必要な [vCPU/仮想マシン]、[vRAM/仮想マシン]、および [使用されているストレージ/仮想マシン] を選択します。

a vCPU/仮想マシン - 仮想マシン 1 台あたりの仮想 CPU のシェアを表します。

b vRAM/仮想マシン - 仮想マシン 1 台あたりに割り当てられている仮想 RAM の容量を表します。

c 使用されているストレージ/仮想マシン - 仮想マシン 1 台あたりに必要とされるストレージの合計の値を表します。ストレージの合計には、オペレーティング システムによって使用されるストレージと、仮想マシンで実行されるすべてのアプリケーションで必要とされるストレージが含まれます。

6 クラスタを作成するには、[ストレッチ クラスタの有効化] チェック ボックスを選択します。

7 [推奨の取得] をクリックします。

a [推奨] セクションでは、入力したリソースについて表示される計算値を確認できます。ドロップダウンから [ホスト タイプ (AWS)] を選択して、選択したホスト タイプの要件を反映させることもできます。ホスト タイプに対して表示される現在のオプションは、i3 インスタンス タイプと i3en インスタンス タイプです。ホスト タイプの詳細については、[VMware Cloud on AWS のホスト タイプ](#)を参照してください。

b [追加情報] セクションには、リソースについて計算された値の詳細な内訳、SDDC とクラスタ、ヘッドルームと vSAN ポリシー、および考慮されたその他のサイジング前提条件に関連する情報が表示されます。このセクションに示されている各項目は、展開のリソースの見積もりを計算するときに指定した入力値に基づいています。

8 レポートをダウンロードするには、[レポート (PDF) のダウンロード] をクリックします。

注： ダウンロードしたレポートの有効期間は 30 日です。

9 見積もり対象の VMware Cloud on AWS SDDC の総所有コスト (TCO) を要求するには、[TCO の取得] をクリックし、[E メール経由で TCO を要求] を選択します。

a [名前]、[会社名]、および [連絡先] の詳細を入力します。

b 必要なサイジングの詳細を入力し、[保存] をクリックします。保存すると、サイジング要件を含むリクエストが作成され、VMware の担当者が返信します。レポートを生成するために、必要な詳細を含む E メールが VMware Cloud Sizer から TCO チームに送信されます。

10 [独自の TCO を構築] をクリックして、独自の TCO を構築することもできます。

注： Sizer ツールでは、エントリをプロジェクトとして保存することもできます。プロジェクト ワークフローの詳細については、[6 章 VMware Cloud Sizer での Sizer プロジェクトの作成と保存](#)を参照してください。

VMware Cloud Advanced Sizer - クラシック

4

VMware Cloud Advanced Sizer は、複数のワークロードで必要とされるリソースに関して、より正確な情報を提供します。クラシックバージョンのインポートでは、VDI ワークロードのみがサポートされ、入力を微調整できます。Advanced Sizer を使用して最終的な見積もりを取得するには、確実に十分なワークロード情報を提供してください。ワークロード データを入力するには、リソース ファイルをインポートするか、必要な詳細を手動で入力する必要があります。

この章には、次のトピックが含まれています。

- VMware Cloud Advanced Sizer へのアクセス - インポート
- VMware Cloud Advanced Sizer へのアクセス - 手動
- Sizer ツールのグローバル設定

VMware Cloud Advanced Sizer へのアクセス - インポート

ワークロード要件のインポートは、既存のワークロードに役立ちます。正しい情報が指定されていれば、各 Sizer オプションによって正確な見積もりが得られますが、データをインポートすればデータの正確性が保証されます。データドリブンサイジングも、データがキャプチャされるタイミングに依存します。アクティビティの低い期間中にワークロード要件の取得が行われると、重要な要件を見落とす可能性があります。

前提条件

Sizer の要件をインポートするには、アップロードする既存の RVTools またはツール用の Live Optics データが用意されていることを確認してください。

手順

- 1 <https://vmc.vmware.com/sizer/home> を新しいブラウザで開きます。
- 2 VMware Cloud Sizer のホーム ページで、[高度 Sizer] の [オンプレミス データのインポート] の下にある [インポート] をクリックします。
 - a [RVTools] をクリックします。

- 3 [インポート RVTools ファイル] で、[ファイルの選択] をクリックします。
 - a 必要に応じてその他の設定を選択し、[アップロード] をクリックします。

注： Live Optics ファイルをインポートする場合も、手順 1～2 の同様の手順を実行します。

- RVTools - RVTools は、既存の vSphere 環境に直接接続して、インベントリの現在のスナップショットをエクスポートする無料の Windows .NET アプリケーションです。このスナップショットには、ストレージのパフォーマンスの要件は含まれていません。このツールでは、vCenter Server API を使用して、環境内のすべての仮想マシンの詳細を含む Excel シート ファイルを生成します。Sizer にはすべての仮想マシン構成の詳細が含まれているため、このファイルをアップロードすると、より正確なサイジングが可能になります。
- Live Optics - Live Optics は、指定された期間のワークロード使用率をキャプチャできる Dell EMC の無料サービスです。このツールは、任意のワークロードの非侵入型のエージェント駆動型データ収集を可能にします。データ収集は指定された期間に実行できます。Live Optics が推奨されるのはストレージのパフォーマンス データが含まれているためであり、高ワークロードを処理する場合に特に役立ちます。RVTools と似ていますが、パフォーマンスと容量を正確に把握できるため、こちらがわずかに優れています。

注： Sizer ツールでは、ログインしてエントリをプロジェクトとして保存することもできます。プロジェクトワークフローの詳細については、6 章 [VMware Cloud Sizer での Sizer プロジェクトの作成と保存](#) を参照してください。

VMware Cloud Advanced Sizer へのアクセス - 手動

ワークロードの要件を十分に把握している新しい展開には、手動の高度なサイジングが適しています。高度なサイジングには追加の情報が必要ですが、完全なカスタマイズが可能であり、十分に把握しているアプリケーションを扱う場合に適しています。

手順

- 1 <https://vmc.vmware.com/sizer/home> を新しいブラウザで開きます。
- 2 [VMware Cloud Advanced Sizer] で [開始] をクリックし、[手動] を選択します。
- 3 ドロップダウン メニューから関連する [ワークロード タイプ] を選択します。
- 4 プロファイル名にはデフォルトの名前が指定されます。

- 5 [Sizer の入力] で、[仮想マシンの合計数] を入力します。必要に応じて、[vCPU/pCore] を変更できます。

VDI ワークロード タイプの場合は、各デスクトップ インスタンスにつき 1 台の仮想マシンを検討することができます。vCPU/pCore は、物理 CPU あたりの仮想 CPU のシェアを表します。

注： ワークロード タイプとして [VDI - フル クローン] と [VDI - インスタント クローン] を選択した場合、[vCPU/pCore] オプションは表示されません。ワークロード タイプの詳細については、[3 章 VMware Cloud Quick Sizer](#) へのアクセスを参照してください。

- a ワークロードに関連する現在の CPU 使用率、メモリ、ストレージ、および I/O に関するリソース エントリをさらに入力する場合は、[追加] タブを選択します。入力値は Sizer によって事前定義されていますが、変更することもできます。

- 6 必要な [入力の平均] を入力します。

- a vCPU/仮想マシン - 仮想マシン 1 台あたりの仮想 CPU のシェアを表します。
- b vRAM/仮想マシン - 仮想マシン 1 台あたりに割り当てられている仮想 RAM の容量を表します。
- c 使用されているストレージ/仮想マシン - 仮想マシン 1 台あたりに必要とされるストレージの合計の値を表します。ストレージの合計には、オペレーティング システムによって使用されるストレージと、仮想マシンで実行されるすべてのアプリケーションで必要とされるストレージが含まれます。

注： Sizer には、入力値の平均を入力できる追加の機能があります。平均値が不明な場合は、入力値の合計を入力できます。

- 7 新しいワークロード プロファイルを追加するか、既存のワークロード プロファイルを複製できます。[別のワークロード プロファイルの追加] をクリックします。

- a データを手動で入力するには、[手動データ] をクリックします。
- b 既存のデータをインポートするには、[データのインポート] - [RVTools] または [Live Optics] をクリックします。RVTools と Live Optics の詳細については、[4 章 VMware Cloud Advanced Sizer - クラシック](#) を参照してください。

- 8 [推奨の取得] をクリックします。

- a [推奨] セクションでは、入力したリソースについて表示される計算値を確認できます。ドロップダウンから [ホスト タイプ (AWS)] を選択して、選択したホスト タイプの要件を反映させることもできます。ホスト タイプの詳細については、[VMware Cloud on AWS のホスト タイプ](#) を参照してください。ホスト タイプに対して表示される現在のオプションは、[i3 インスタンス タイプ] と [i3en インスタンス タイプ] です。
- b [追加情報] セクションには、リソースについて計算された値の詳細な内訳、SDDC とクラスタ、ヘッドルームと vSAN ポリシー、および考慮されたその他のサイジング前提条件に関連する情報が表示されます。このセクションに示されている各項目は、展開のリソースの見積もりを計算するときに指定した入力値に基づいています。

- 9 レポートをダウンロードするには、[レポート (PDF) のダウンロード] をクリックします。

注： ダウンロードしたレポートの有効期間は 30 日です。

- 10 見積もり対象の VMware Cloud on AWS SDDC の総所有コスト (TCO) を要求するには、[TCO の取得] をクリックし、[E メール経由で TCO を要求] を選択します。
 - a [名前]、[会社名]、および [連絡先] の詳細を入力します。
 - b 必要なサイジングの詳細を入力し、[保存] をクリックします。保存すると、サイジング要件を含むリクエストが作成され、VMware の担当者が返信します。レポートを生成するために、必要な詳細を含む E メールが VMware Cloud Sizer から TCO チームに送信されます。
- 11 [独自の TCO を構築] をクリックして、独自の TCO を構築することもできます。

注： Sizer ツールでは、エントリをプロジェクトとして保存することもできます。プロジェクト ワークフローの詳細については、6 章 VMware Cloud Sizer での Sizer プロジェクトの作成と保存を参照してください。

Sizer ツールのグローバル設定

Sizer で計算するすべてのワークロードに適用可能な値をグローバル レベルで設定できます。

SDDC アプライアンスのサイズ

ドロップダウン メニューから必要なサイズを選択できます。展開する管理アプライアンスの実際のサイズです。

ストレッチ クラスタ

ワークロード プロファイルにストレッチ クラスタを使用する場合は、[はい] または [いいえ] を選択できます。

Fault Tolerance

Fault Tolerance は vSAN Fault Tolerance 構成を指します。デフォルトでは、Sizer は SLA 要件に基づいて特定のクラスタ サイズに適した構成を使用します。Fault Tolerance を使用すると、動作をオーバーライドして特定の構成を適用できます。許容されるホスト障害の数 (HFT) と FTM を特定の値に設定するか、または VMC Sizer に設定を自動的に決定させることができます。後者の設定では、VMC SLA 要件を遵守しながら推奨されるホスト数を最小限に抑えることができます。

CPU のヘッドルーム

ヘッドルームを定義する有効な数値を入力できます。CPU のヘッドルームは、SDDC 内の予約済み CPU コア数を表します。

ハイパースレッディングの重み (%)

ハイパースレッディングをサポートする任意のホスト タイプに対して適用できるハイパースレッディングの重みの割合をグローバル設定で設定できます。

注： グローバル設定は、Sizer ツールの手動およびインポートのオプションに適用できます。

VMware Cloud Advanced Sizer - 新規

5

新しい VMware Cloud Advanced Sizer では各ワークロードが個別にチェックされるため、外れ値を見つけてより正確な推奨事項を提示することができます。現在、Advanced Sizer - 新規は、非 VDI ワークロードのみをサポートしています。

この章には、次のトピックが含まれています。

- [VMware Cloud Sizer へのアクセス - 新規](#)
- [Sizer ツールのプロファイル設定 - 新規](#)

VMware Cloud Sizer へのアクセス - 新規

新しい Advanced Sizer では、プロファイルを個別にカスタマイズできるため、各ワークロードの詳細なクラスタサマリが得られます。

VMware Cloud Advanced Sizer - 新規で、[開始] をクリックしてファイル タイプを選択し、サイジングのためにファイルをアップロードします。サイジングのためのワークロード データのインポートでは、RVTools または Live Optics でサポートされているファイルのみをアップロードできます。詳細については、[VMware Cloud Advanced Sizer へのアクセス - インポート](#)を参照してください。

手順

- 1 適切なファイルをアップロードすると、サイジングに必要なアップロードされたファイルのワークロードの詳細が表示されます。
- 2 [プロファイル名] を変更すると、複数のワークロード プロファイルを管理できます。
- 3 ワークロード プロファイルに変更を加えるには、[グローバル設定] をクリックします。[グローバル設定] のさまざまなフィールドの詳細については、[Sizer ツールのグローバル設定](#)を参照してください。

注： 既存の VMware Cloud on AWS ユーザーが管理オーバーヘッドを除外するには、[このサイジングでの管理オーバーヘッドを除外] チェックボックスをオンにします。

- 4 個々のワークロード プロファイルに変更を加えるには、[プロファイル設定] をクリックします。詳細については、[Sizer ツールのプロファイル設定 - 新規](#)を参照してください。
- 5 複数のワークロード プロファイルを追加するには、[別のワークロード プロファイルの追加] を選択します。

6 [推奨の取得] をクリックします。

- a [サマリ] には、ワークロード プロファイルに該当するすべてのクラスタに必要なインスタンスと構成の合計数の詳細が表示されます。
- b [ワークロードに注意が必要です] をクリックします。サイジング分析中に、選択したクラウド インフラストラクチャに適していないワークロードを Sizer が検出すると、注目する必要がある警告メッセージが表示されます。
 - 1 [修正が必須です] - 選択したクラウド インフラストラクチャに対して構成がサポートされていないために Sizer で使用できなかったワークロードのリストが表示されます。新しい推奨を取得するには、構成を変更します。
 - 2 [制限されたホスト互換性] - 選択したホスト タイプに Sizer で配置できなかったワークロードのリストが表示されます。新しい推奨を取得するには、[プロファイル設定] で推奨されているインスタンス タイプに変更します。
- c [推奨事項の詳細] には、ワークロード配置の詳細が各ワークロード プロファイルのクラスタ レベルの内訳と共に表示されます。[追加情報] セクションには、リソースの推定値、SDDC とクラスタの情報、ヘッドルームと vSAN ポリシーの使用状況、分析の際に考慮されるその他のサイジングの前提条件の詳細が表示されます。このセクションに示されている各項目は、展開のリソースの見積もりを計算するときの入力に基づいています。

7 レポートをダウンロードするには、[ダウンロード] をクリックし、ドロップダウンから出力形式を選択します。レポート (PDF) ファイルまたはクラスタ マッピング (.CSV) ファイルをダウンロードできます。クラスタ マッピング レポートには、クラスタ レベルでのワークロード配置が示されます。サポートされていないワークロード (.CSV) ファイルをダウンロードして、サイジングに使用されないワークロードの詳細を確認することもできます。

注： ダウンロードしたレポートの有効期間は 30 日です。

- 8 見積もり対象の VMware Cloud on AWS SDDC の総所有コスト (TCO) を要求するには、[TCO の取得] をクリックし、[E メール経由で TCO を要求] を選択します。
 - a [名前]、[会社名]、および [連絡先] の詳細を入力します。
 - b 必要なサイジングの詳細を入力し、[保存] をクリックします。保存すると、サイジング要件を含むリクエストが作成され、VMware の担当者が返信します。レポートを生成するために、必要な詳細を含む E メールが VMware Cloud Sizer から TCO チームに送信されます。
- 9 [独自の TCO を構築] をクリックして、独自の TCO を構築することもできます。

注： Sizer ツールでは、エントリをプロジェクトとして保存することもできます。プロジェクト ワークフローの詳細については、[6 章 VMware Cloud Sizer での Sizer プロジェクトの作成と保存](#)を参照してください。

Sizer ツールのプロファイル設定 - 新規

[プロファイル設定] を使用すると、要件に基づいてワークロード プロファイルをカスタマイズできます。

このプロファイルに個別のクラスタを使用しますか

管理するワークロード プロファイルが複数ある場合は、このオプションを使用して別々のクラスタに配置できます。

優先 VMC on AWS ホスト タイプ

AWS ホスト タイプに対しては、Sizer によってデフォルトで i4i インスタンス タイプが選択されます。要件に基づいて、[i3]、[i3en]、または [自動] オプションを選択できます。

Fault Tolerance

各ワークロード プロファイルのドロップダウンで、フォルトトレランスの値を選択できます。フォルトトレランスの値は、デフォルトではグローバル設定と同じです。フォルトトレランスのデフォルトの選択は、[グローバル設定] と同じです。

注： 選択すると、プロファイルごとに [グローバル設定] のフォルトトレランス設定が上書きされます。

VMware Cloud Sizer での Sizer プロジェクトの作成と保存

6

VMware Cloud Sizer のユーザー インターフェイスにログインすると、3 つの Sizer オプションが画面に表示されます。Sizer ツールから正確な推奨を取得するには、いずれかの Sizer オプションを選択します。ログイン時にプロジェクトを作成して、サイジングを保存できます。このツールを使用すると、ワークロード要件を再作成せずに PDF レポートをダウンロードしたり、既存のサイジングをカスタマイズしたりできます。

前提条件

VMware Cloud Sizer にログインしていることを確認します。

手順

- 1 ログインすると、Quick Sizer、高度 Sizer（手動およびインポート）を含むページに自動的に移動します。
- 2 必要な Sizer を選択したら、必要なワークロード値を入力して推奨を取得します。
- 3 保存するには、今後の参照用に [プロジェクトの保存] をクリックします。
- 4 [プロジェクト名] と [お客様名] を入力し、関連付けられている [タグ] を選択します。
- 5 [保存] をクリックします。

[すべてのプロジェクト] テーブルですべてのエントリを確認できます。

VMware Cloud Sizer でのログの表示

VMware Cloud Sizer ログは、障害のトラブルシューティングやデータ変更の表示に役立ちます。

VMware Cloud Sizer には 2 つのログがあります。個々のプロジェクト レベルおよびプロジェクトの概要レベルのログを表示できます。

前提条件

VMware Cloud Sizer ツールにログインしていることを確認します。

手順

- 1 <https://vmc.vmware.com/sizer/home> を新しいブラウザで開きます。
- 2 ログインして個々のプロジェクトの詳細を表示したら、VMware Cloud Sizer のホーム ページで [ログの表示] をクリックします。

プロジェクト レベルのすべてのログが VMware Cloud Sizer のホーム ページに表示されます。

- 3 すべてのプロジェクトとその関連エントリを1つのビューとして VMware Cloud Sizer のホーム ページに表示できます。

[すべてのプロジェクト] テーブルには、作成されたプロジェクトに関連する情報が表示されます。このテーブルは、プロジェクト名、プロジェクトの作成時に追加した関連タグ、ワークロード タイプ、ホストの数とホストタイプに関連する推奨事項で構成されます。組織レベルでプロジェクトへの変更を追跡できます。プロジェクトが作成、変更、削除された日時と、変更したユーザーを確認できます。このテーブルは、VMware Cloud Sizer のバージョン番号を確認する必要がある場合に役立ちます。Sizer リリースの新しいバージョンでは、既存の推奨事項は古いものとマークされます。推奨事項を変更するには、テーブルのプロジェクト名をクリックします。[新しい推奨の取得] をクリックするよう求められます。

| All Projects VIEW LOGS | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------|---------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| Project Name | Tag | Workload Types | Recommendation | Version | Created by | Comment | Date Modified | Report | | |
| TDC | TDC | General Purpose | Hosts: 48 • Type: i3 | v4.1.1 | msingh4@vmware.com | | Aug 17, 2021, 4:10:36 AM | ↓ PDF | | |
| test | test | General Purpose | Hosts: 4 • Type: i3 | v4.1.1 | sjayakirthi@vmware.com | | Aug 10, 2021, 7:33:35 PM | ↓ PDF | | |
| UK-iTV-July21 | | General Purpose | Outdated Hosts: 13 • Type: i3 | v4.1.0 | sgilks@vmware.com | | Jul 20, 2021, 7:28:00 PM | Outdated | | |

Objects per page 10

注： ユーザー インターフェイスの右側にある [アクション] ボタンをクリックして、[プロジェクトの詳細を編集]、[プロジェクトを削除] を実行したり、[プロジェクト ログ] を表示したりすることもできます。

- 4 縦方向の省略記号をクリックしてログを [編集]、[削除]、[複製]、表示します。
- 5 レポートをダウンロードするには、[PDF] ダウンロード アイコンをクリックします。